

北里大学北里研究所病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (研究番号)	炎症性腸疾患の疾患活動性評価における LRG の有用性：国際多施設共同臨床研究（No.22041）
当院の研究責任者 (所属)	小林 拓（炎症性腸疾患先進治療センター）
他の研究機関および 各施設の研究責任者	マハルシヤク教授（ Nitsan Maharshak ） 消化器・肝臓病科 テルアビブ医療センター（イスラエル） Department of Gastroenterology and Liver Diseases, Tel Aviv Medical Center, Israel
本研究の目的	イスラエルと日本の炎症性腸疾患患者において、LRG の治療効果、寛解、再発の予測能を検討する。
調査データ 該当期間	2019年1月～2022年12月
研究の方法 (使用する試料等)	<p>●対象となる患者さま 『生物学的製剤を使用する潰瘍性大腸炎、クローン病患者における網羅的解析』『炎症性腸疾患における病勢モニタリング法としてのLRGの有用性検討』の研究に参加された炎症性腸疾患の患者様</p> <p>●利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録(年齢、性別、罹病期間、罹病範囲、治療歴、処方内容、治療期間)、検査データ(CRP)、保存してある血清、便で測定した LRG や便中カルプロテクチン、抗$\alpha v \beta 6$ インテグリン抗体の値を利用します。</p>
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	<p>上記、テルアビブ医療センター（イスラエル）マハルシヤク教授（Nitsan Maharshak）へ上記情報、当研究で得たデータを提供します。</p> <p>なお、イスラエル国は包括的な法令として、「プライバシー保護法」があります。</p> <p>EU の十分性認定は 2011 年 1 月 31 日取得されています。 https://www.nevo.co.il/law_html/law00/71631.htm</p> <p>また、血清 LRG は積水メディカル株式会社にて測定、抗$\alpha v \beta 6$ インテグリン抗体は MBL ライフサイエンス社の Anti-Integurin $\alpha v \beta 6$ ELISA Kit を用いて測定を行なわれます。</p>
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	研究に関して一部は積水メディカル株式会社、アルフレッサファーマ株式会社から資金と材料の提供を受けている。北里大学利益相反委員会の審査を受け適切に管理されています。
お問い合わせ先	電話：03-3444-6161 担当者：佐上 晋太郎
備考	